

**製品名: オーロラ A (8C5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07374**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AURKA
別名	AIK, ARK1, AYK1, Aurora-A, Aurora-related kinase 1, BTAK, IAK1, Ipl1- and aurora-related kinase 1, STK15, STK6, Serine/threonine kinase 15
遺伝子 ID	6790.0
SwissProt ID	O14965
免疫原	ヒトオーロラ A の合成ペプチド

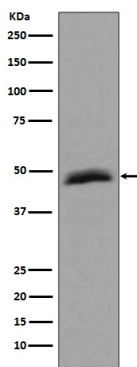
## 背景

細胞周期の進行制御に寄与する有糸分裂セリン / スレオニンキナーゼ。有糸分裂中は中心体および紡錘体微小管と会合し、有糸分裂紡錘体の形成、中心体の複製、中心体の分離、成熟、染色体整列、紡錘体形成チェックポイント、細胞質分裂など、様々な有糸分裂過程において重要な役割を果たします。細胞周期の進行制御に寄与する有糸分裂セリン / スレオニンキナーゼ (PubMed:26246606、PubMed:12390251、PubMed:18615013、PubMed:11039908、PubMed:17125279、PubMed:17360485)。有糸分裂期には中心体および紡錘体微小管と会合し、有糸分裂紡錘体の確立、中心体の複製、中心体の分離、成熟、染色体整列、紡錘体形成チェックポイント、細胞質分裂など、様々な有糸分裂過程において重要な役割を果たします (PubMed:26246606、PubMed:14523000)。有糸分裂期における紡錘体の正常な配置、および中期における NUMA1 および DCTN1 の細胞外層への局在に必須です (PubMed:27335426)。中心体における CDK1 の初期活性化に必須です (PubMed:13678582、PubMed:15128871)。ARHGEF2、BORA、BRCA1、CDC25B、DLGP5、HDAC6、KIF2A、LATS2、NDEL1、PARD3、PPP1R2、PLK1、RASSF1、TACC3、p53/TP53、TPX2 など、多数の標的タンパク質をリン酸化します (PubMed:18056443、PubMed:15128871、PubMed:14702041、PubMed:11551964、PubMed:15147269、PubMed:15987997、PubMed:17604723、PubMed:18615013)。KIF2A チューブリン脱重合酵素活性を制御します (PubMed:19351716)。微小管の形成および / または安定化に重要 (PubMed:18056443)。正常な軸索形成に必要 (PubMed:19812038)。神経突起伸展時の微小管リモデリングに関与する (PubMed:19668197)。また、p53/TP53 をリン酸化および不安定化させることにより、p53/TP53 経路、特に細胞の腫瘍形成に重要なチェックポイント応答経路の重要な調節因子としても機能する (PubMed:14702041)。自身の阻害因子であるタンパク質ホスファターゼ 1 型 (PP1) アイソフォームをリン酸化して、その活性を阻害する (PubMed:11551964)。有糸分裂前の適切な繊毛分解に必要 (PubMed:17604723、PubMed:20643351)。転写因子 FOXP1 のリン酸化を介して SCF(FBXL7) E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ基質アダプター FBXL7 の発現を抑制することにより、抗アポトーシスタンパク質 BIRC5 のタンパク質レベルを調節します (PubMed:28218735)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の Aurora A 発現のウェスタン プロット分析。